

Bluetoothでの目的地送信について

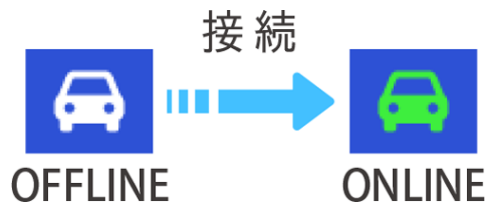


NaviConで選んだ地点をBluetoothでカーナビに送信するには、あらかじめスマートフォンとカーナビの間でペアリング設定が必要です。ペアリングとは、接続する機器の組み合わせ（ペア）を決めるものです。次ページ以降で、具体的な操作手順をご紹介します。

※ 手順が類似する製品をまとめてご紹介しておりますので、画面の詳細やデザインは実際の製品と異なる場合がございます。



Bluetooth接続には、「プロファイル」と呼ばれる種類があり、利用する用途に応じて、それぞれのペアリングが必要です。代表的なものに電話用 (HFP) や音楽再生 (A2DP) などがありますが、NaviConで目的地を送信するにはデータ通信用 (SPP) のペアリングが必要です。カーナビによっては複数のペアリングを同時に行うものもあります。



一度ペアリングが完了すると、次回からは自動で接続されます。NaviConがカーナビと接続されると地図画面の右下のアイコンがONLINEに変わります。

※ ご利用の状況によっては、稀にペアリング情報が失われる場合があります。その場合は一旦双方の登録を消去して、再度ペアリングをやり直してください。

スマートフォン



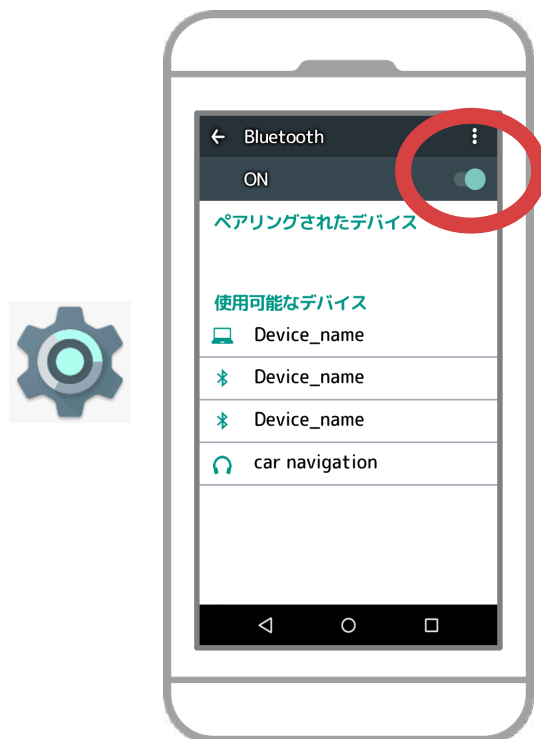
カーナビ



カーナビの画面で、「メニュー」→「携帯電話」→「設定」→「機器登録」→「ハンズフリー」の順に操作してBluetoothの機器登録の画面を表示します。

スマートフォン

カーナビ



Androidのホーム画面から「設定」→「Bluetooth」をタップして、Bluetooth設定画面を表示します。
BluetoothがOFFの場合はONにします。

スマートフォン

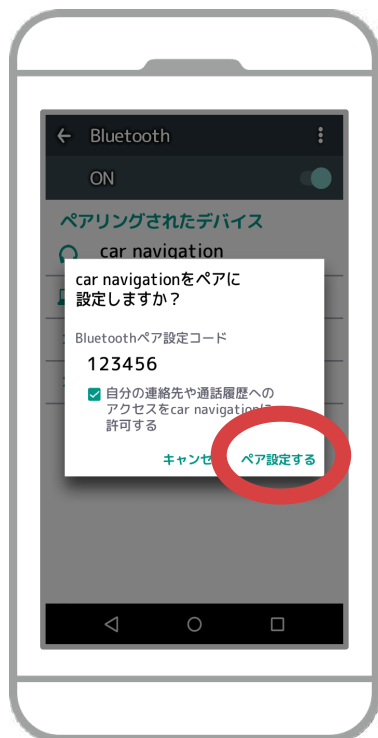


カーナビ



カーナビ機器名称(この場合はCarNavigation)を選択します。
※機器名称は、カーナビにより異なります。
※カーナビ機器名称が表示されない場合は、画面右上のメニューから更新を選択します。

スマートフォン



カーナビ



Bluetoothのペアリング要求が表示されますので
“ペア設定する”を押してください。

スマートフォン

カーナビ



ペアリングが始まります。
完了までに少し時間がかかる場合があります。

スマートフォン

カーナビ



電話帳へアクセスするかのメッセージが出た場合、カーナビでスマホの電話帳をお使いになるのであれば“はい”を選択してください。

スマートフォン



カーナビ



続いて、登録したスマートフォンにどの機能を割り当てるかを設定します。

カーナビの画面で、「MENU」→「電話」→「設定」→「登録機器一覧」→「ハンズフリー」の順に操作します。

スマートフォン



カーナビ



割り当て設定するスマートフォンの「 / 」をタッチして、「」に設定します。

※タッチするたびにBluetooth接続するスマートフォンの
接続設定⇔接続解除が切り替わります。

スマートフォン



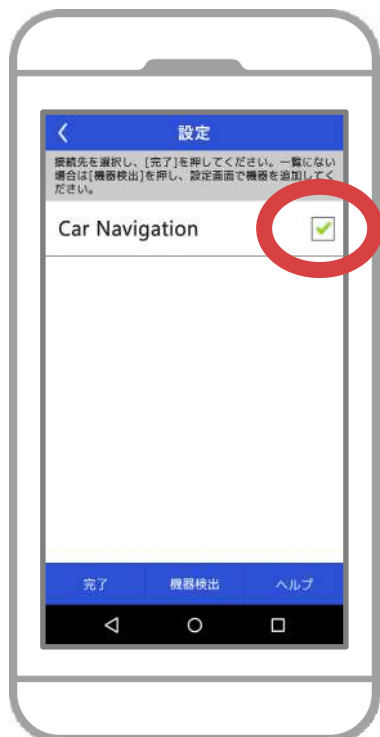
カーナビ



これでスマートフォンとカーナビのペアリングは完了しました。
以降では、NaviConで接続先の選択を行います。

スマートフォン

カーナビ



NaviConを起動します。先程ペアリングしたカーナビが表示されますので、それを選択し“完了”を押します。
NaviConを起動しても自動でこの画面が表示されない場合は以下の手順を行ってください。

スマートフォン



カーナビ



NaviConを起動し、左上のメニューから“設定”を選択します。

スマートフォン

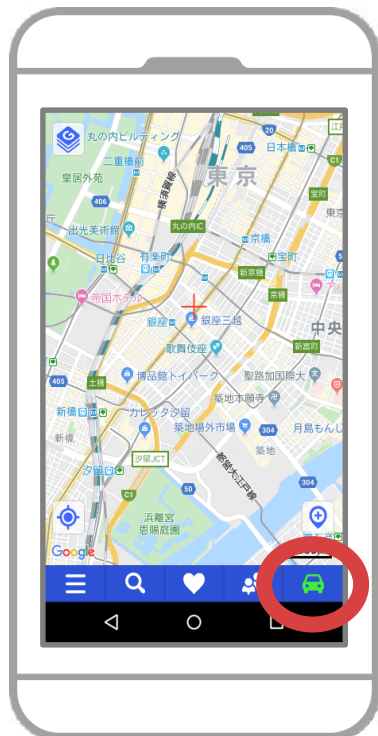


カーナビ



設定画面の下部にある“接続先設定”を押します。
10ページと同様の画面が表示されるのでカーナビを
選択してください。

スマートフォン



カーナビ



NaviConの地図画面の右下のステータス表示が
ONLINEになれば、NaviConとカーナビの接続は完了です。

カーナビとの接続でお困りの場合は...

- ・ 前記の手順でペアリング操作をしたけれど繋がらない。
- ・ NaviConをバージョンアップしたら繋がらなくなった。
- ・ スマホのOSをバージョンアップしたら繋がらなくなった。
- ・ スマホを機種変更したら繋がらなくなった。
- ・ USBケーブルを接続したら繋がらなくなった。
- ・ なぜか理由不明だが、突然繋がらなくなった。



など、接続でお困りの場合は、Q & Aを用意しております。

こちらをご覧ください。

<https://navicon.com/user/support/faq/index.html>